

## 令和5年度 学校評価 自己評価書（一学期）

## 1 学校の重点目標

(1) キャリア教育の推進
(2) 確かな学力の定着
(3) 心に届く生徒指導
(4) 健康・体力構造の増進
(5) 特別支援教育の充実
(6) 人権教育の充実
(7) GIGAスクールを踏まえたカリキュラム・マネジメント
(8) 信頼される学校づくりと業務改善の推進
(9) 小中連携の充実

## 2 課題と改善策

	評価項目	職員	評価結果と改善方策
力の 確かな 学 定着	1 各種調査による学力の実態把握	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NRTの分析による授業改善と小中連携研修会で確認した共通実践事項を実践する。</li> <li>・ Webシステム問題の一覧を掲示することで、単元の中に位置付けるようにする。</li> </ul>
	2 WEB システム問題の実施	2.6	
	3 タブレットの活用による個別最適な学びの取組	3.0	
	4 授業と家庭学習の関連付け	3.0	
生徒 心に 届く 指 導	1 積極的生徒指導の実践	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月1回アンケートを実施することで、生徒の悩みやいじめの早期把握ができた。</li> <li>・ サポートルームを開設したことで、生徒の居場所づくりや学級担任との連携が取りやすくなった。</li> </ul>
	2 いじめの未然防止や早期認知	3.3	
	3 特別活動の工夫	3.2	
	4 不登校・不登校傾向生徒への支援	3.2	
向 上 の 推 進 健 康 ・ 体 力	1 基本的な感染症予防の実践	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な感染症対策を続けたことで、インフルエンザの広がりには認められなかった。</li> <li>・ 二学期始めの生徒の様子や体調等について気を付けることを確認した。</li> </ul>
	2 体力等の向上	3.1	
	3 生徒の安全意識の向上に関する取組	3.4	
	4 SSTの授業の実施	3.1	
教 育 の 充 実 特 別 支 援	1 個別の支援計画・指導計画の作成と活用	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援教育校内委員会を行い、支援の要する生徒について検討した。</li> </ul>
	2 チームによる支援体制の確立	2.9	
	3 SC, SSW, 相談員等関係機関との連携	3.0	
人 権 教 育 の 充 実	1 Momを踏まえた生徒理解	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全職員で道徳の授業を行う仕組みが定着し、生徒も意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・ 二学期は学校行事等を通して生徒の良さに着目した学級経営を推進していく。</li> </ul>
	2 学校全体での道徳の授業の実践	3.4	
	3 言葉の重みへの意識の向上	3.2	
	4 よさに着目した生徒理解	3.0	
マ ネ ジ メ ン ト カ リ キ ュ ラ ム	1 評価と指導の一体化	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各教科でタブレットの活用が進んできている。また、タブレットの活用に関する研修を深めたいという教員の意識も高くなっている。</li> </ul>
	2 GIGAスクールに必要な技能の習得	3.1	
	3 授業における生徒のタブレット活用	3.0	
学 校 づ く り 信 頼 さ れ る	1 勤務時間を意識した業務改善	2.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種通信を発行することで、学校の取組や様子について発信することができた。</li> <li>・ 月1回の定時退庁日に早めに退庁するために、各自が業務改善の1tryに取り組む必要がある。</li> </ul>
	2 服務規律の厳正確保	3.5	
	3 保護者や地域への情報の発信	3.4	
	4 校内の設営の工夫及び整理整頓	3.3	
連 携 小 中	1 小中間の情報交換や共通実践事項の実践	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏季休業中にの合同分析会を行い、教科指導法の工夫について情報交換を行う。</li> </ul>

※ 職員の評価は、学校全体の取組を4段階で評価し、その平均値を示している。

## 3 次学期に向けての取組

- サポートルームを開設したことで、できるようになった生徒の姿や見えてきた課題等について担当者を中心に情報交換を行う。
- 生徒がタブレット端末を文房具のように日常的に使いこなせるように、研修を深めていく。
- 指導と評価の一体化について、校内研修を行ったので、主体的に学習に取り組む態度の評価に活かせるように単元の見通しや振り返りの活動を取り入れていく。